

# 福島第二 2022年度緊急時演習 評価指標 7 (実動訓練) 概要

**TEPCO**

---

2022年11月28日  
東京電力ホールディングス株式会社  
福島第二原子力発電所  
安全総括部 防災安全グループ

## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

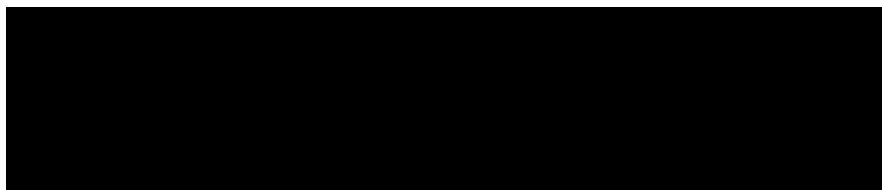
---

### 1. 要素訓練の目的

緊急時対策所と連携した事故シナリオに基づく現場実動訓練により、緊急時対策所及び現場対応要員の対応力向上を目的として現場実動及び情報連携訓練を実施する。

なお、原子力規制庁『令和4年度評価指標（実用発電用原子炉）』における「指標7. 現場実動訓練の実施」の位置付けとして本訓練を実施し、他電力から当社の対応に対する評価を受け、当社の手順・運用に改善事項等を反映することで、現場対応能力向上に資することとする。

### 2. 要素訓練のテーマ



### 3. 実施日

○2022年12月9日（金）

○平日の通常時間帯における災害の発生を想定

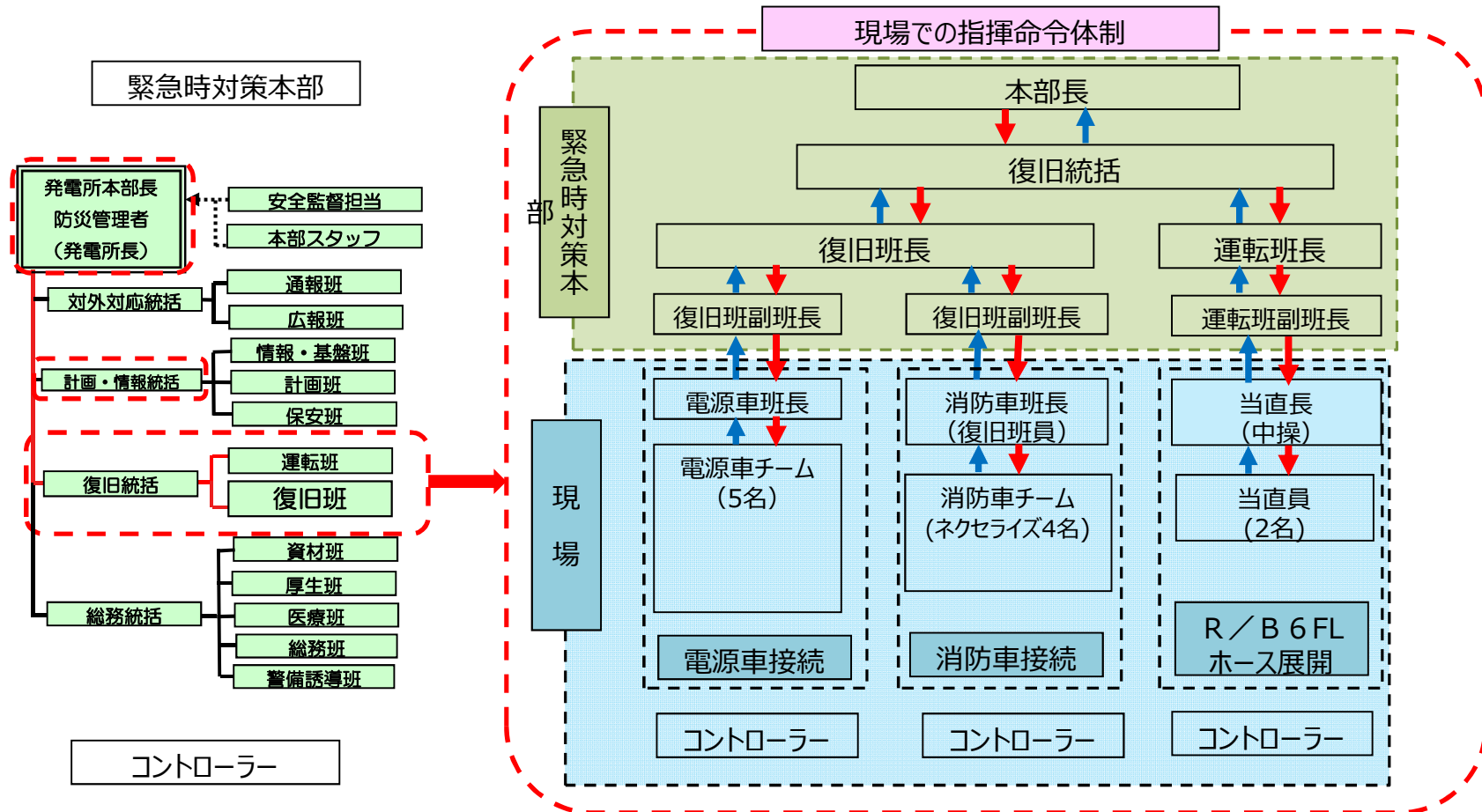
### 4. 訓練実施体制

次スライドの訓練体制図参照

# 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7 (実動訓練) 概要

## 4. 訓練実施体制

本訓練には福島第二原子力発電所原子力防災組織全機能班が参加する。 訓練参加人数 約 100名  
 (評価者・コントローラー約20名)



実動訓練に関する主要な情報連携箇所。

指揮・命令  
報告・連絡

# 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7 (実動訓練) 概要

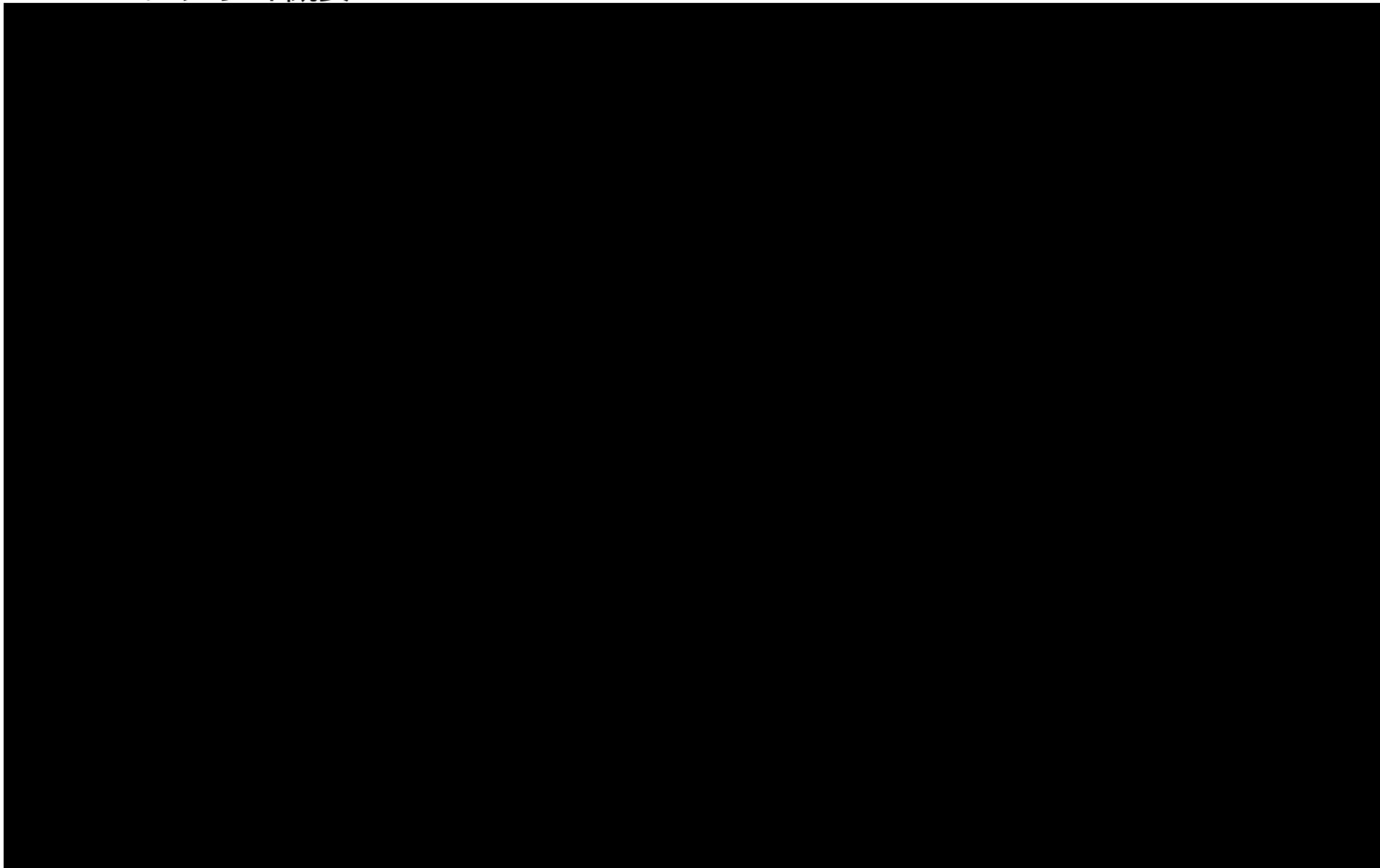
## 5. 緊急対策室レイアウト



## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---

### 7. シナリオ概要



## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

### 8. 訓練マルファンクションの設定

現場における判断力、対応力及び本部での対応力向上を目的としてマルファンクションを設定する。  
マルファンクションに対しての基本的な期待事項は以下のとおりである。

	期待事項	ねらい
本部	[Redacted]	情報収集能力の向上 判断力の向上
現場		

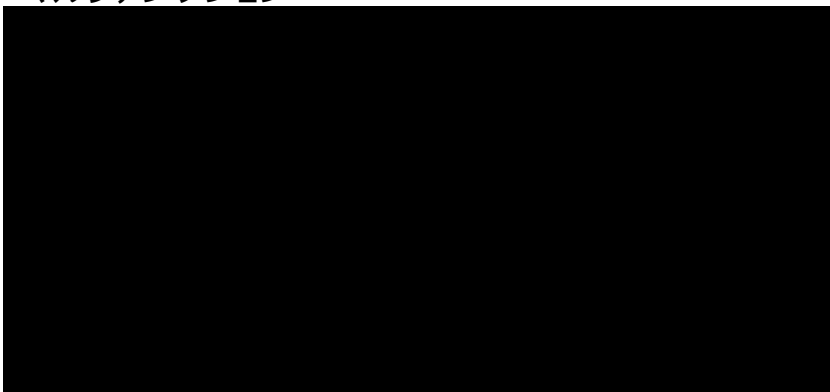
## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---

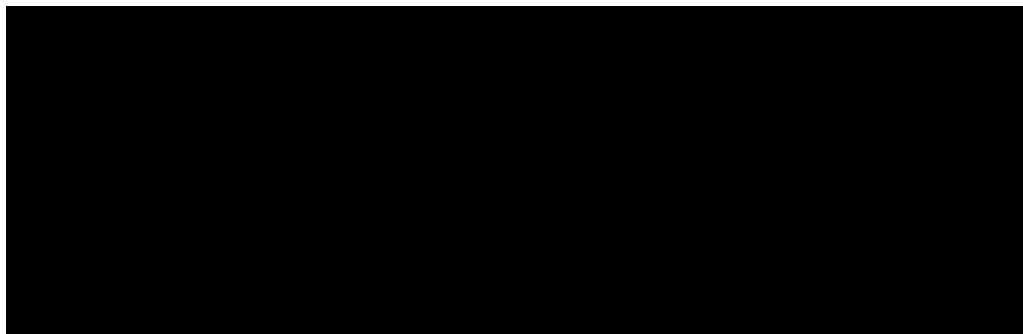
### 9. 設定するマルファンクションについて

現場における判断力、対応力及び本部での対応力向上を目的として以下のマルファンクションを設定する。

#### 1. マルファンクション

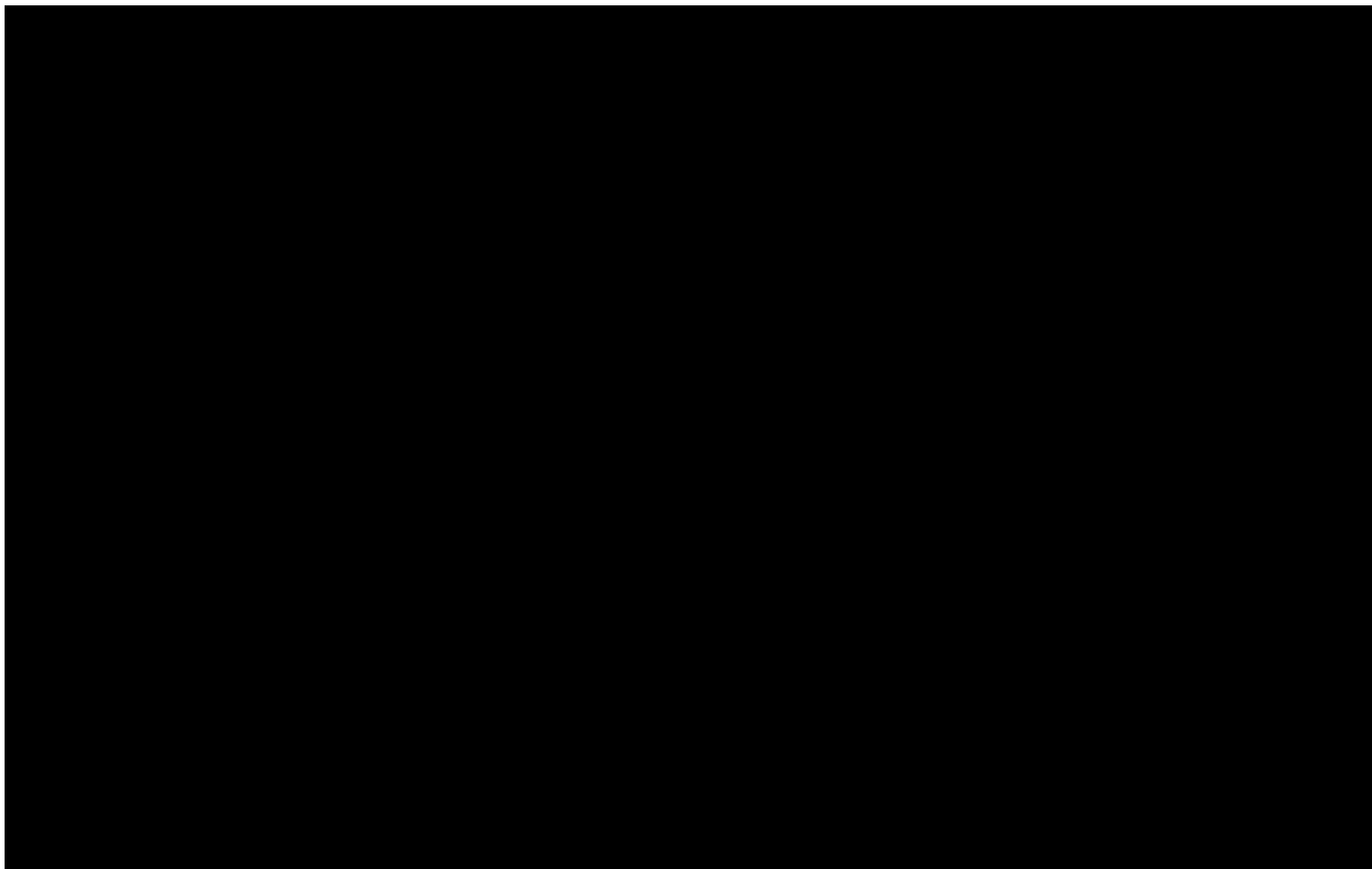


#### 2. 付与方法



## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

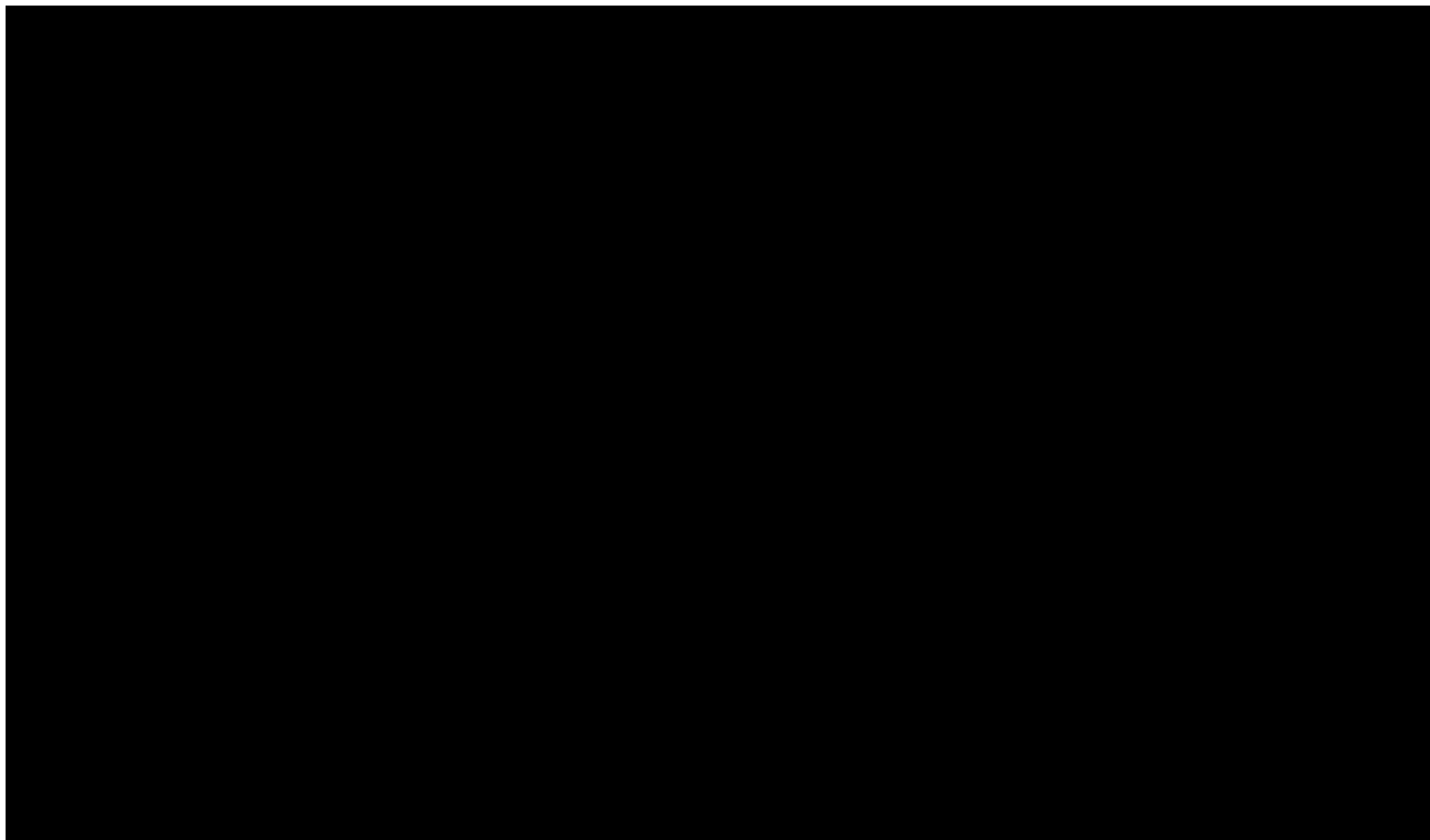
---





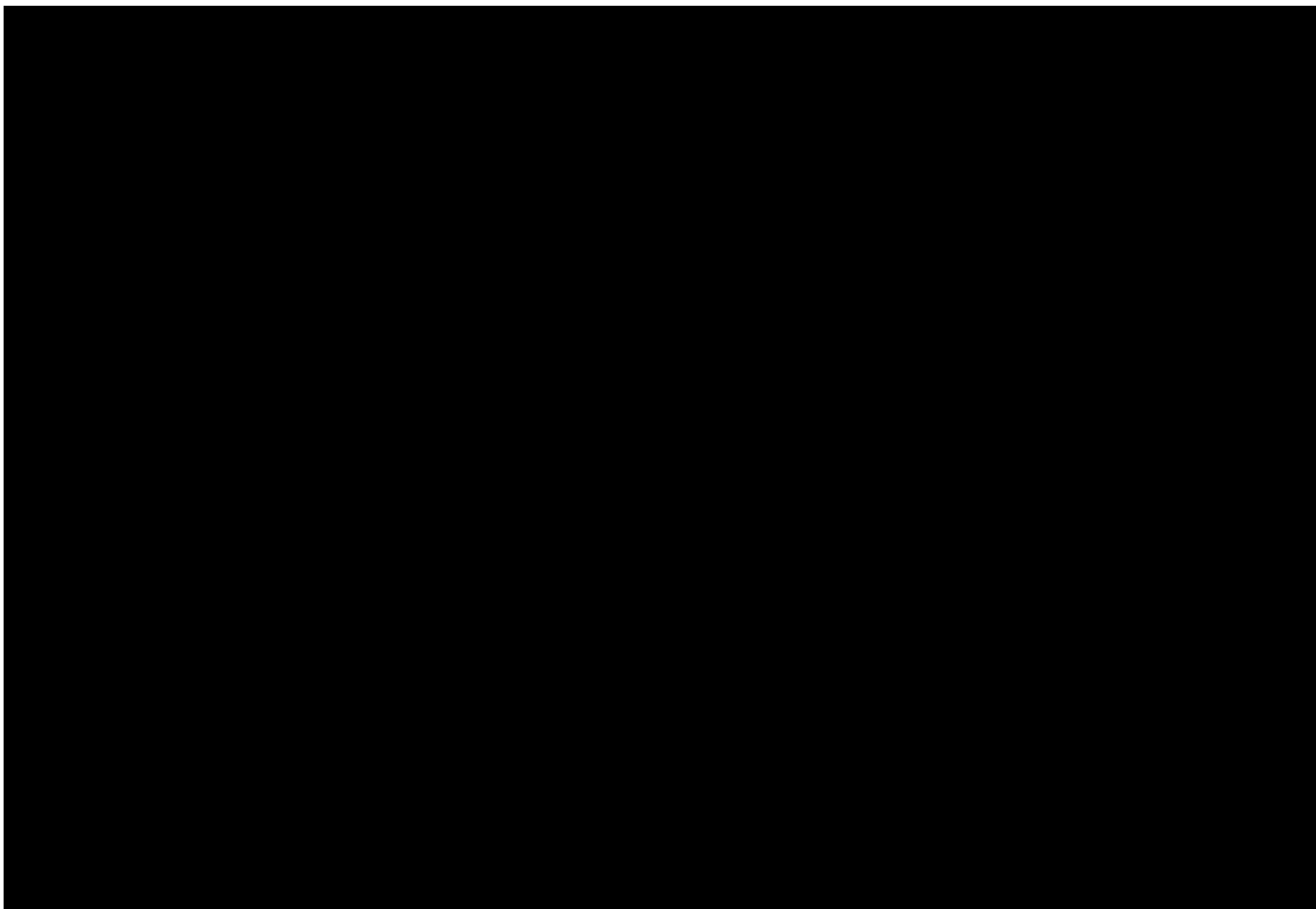
## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---



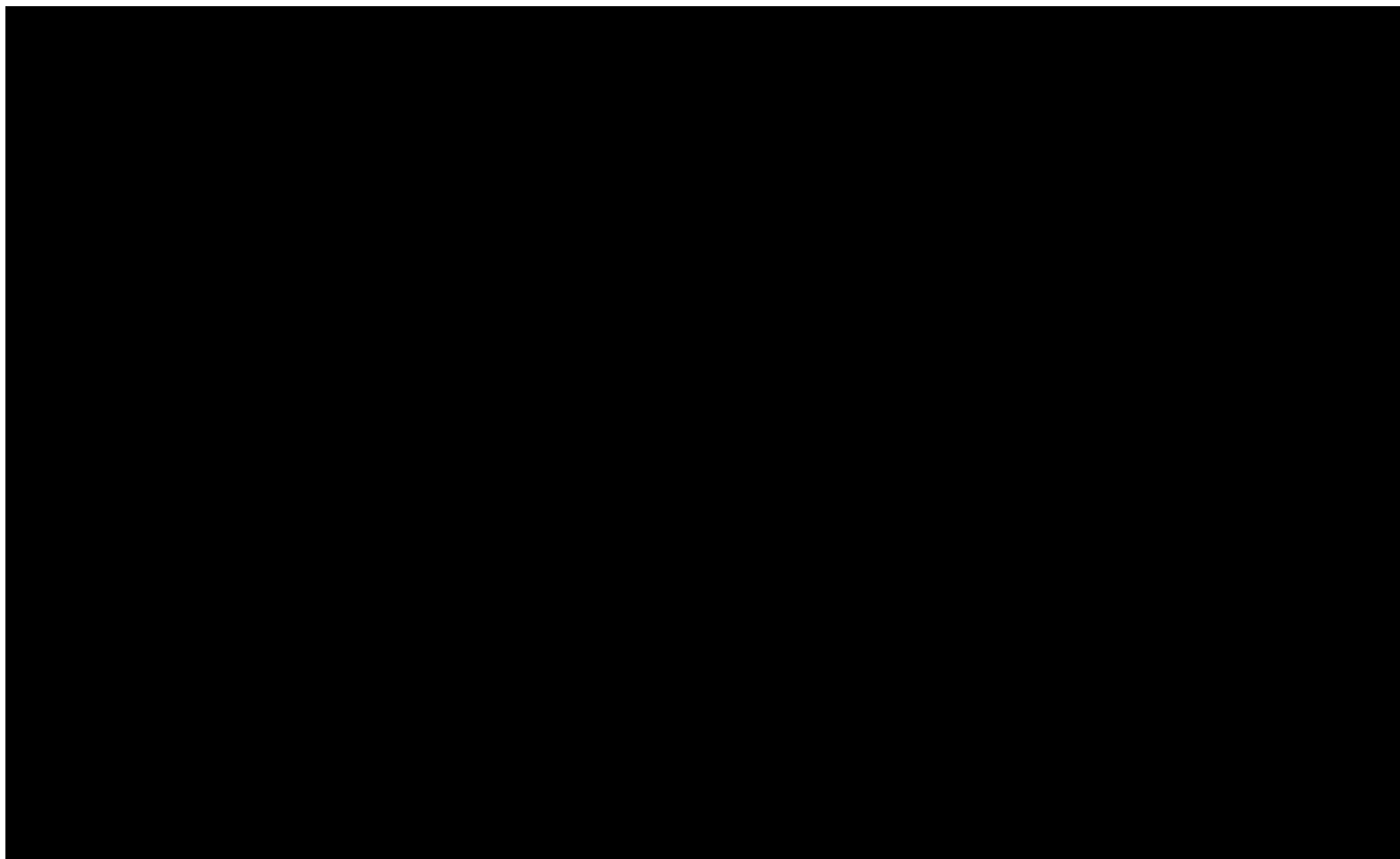
## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---



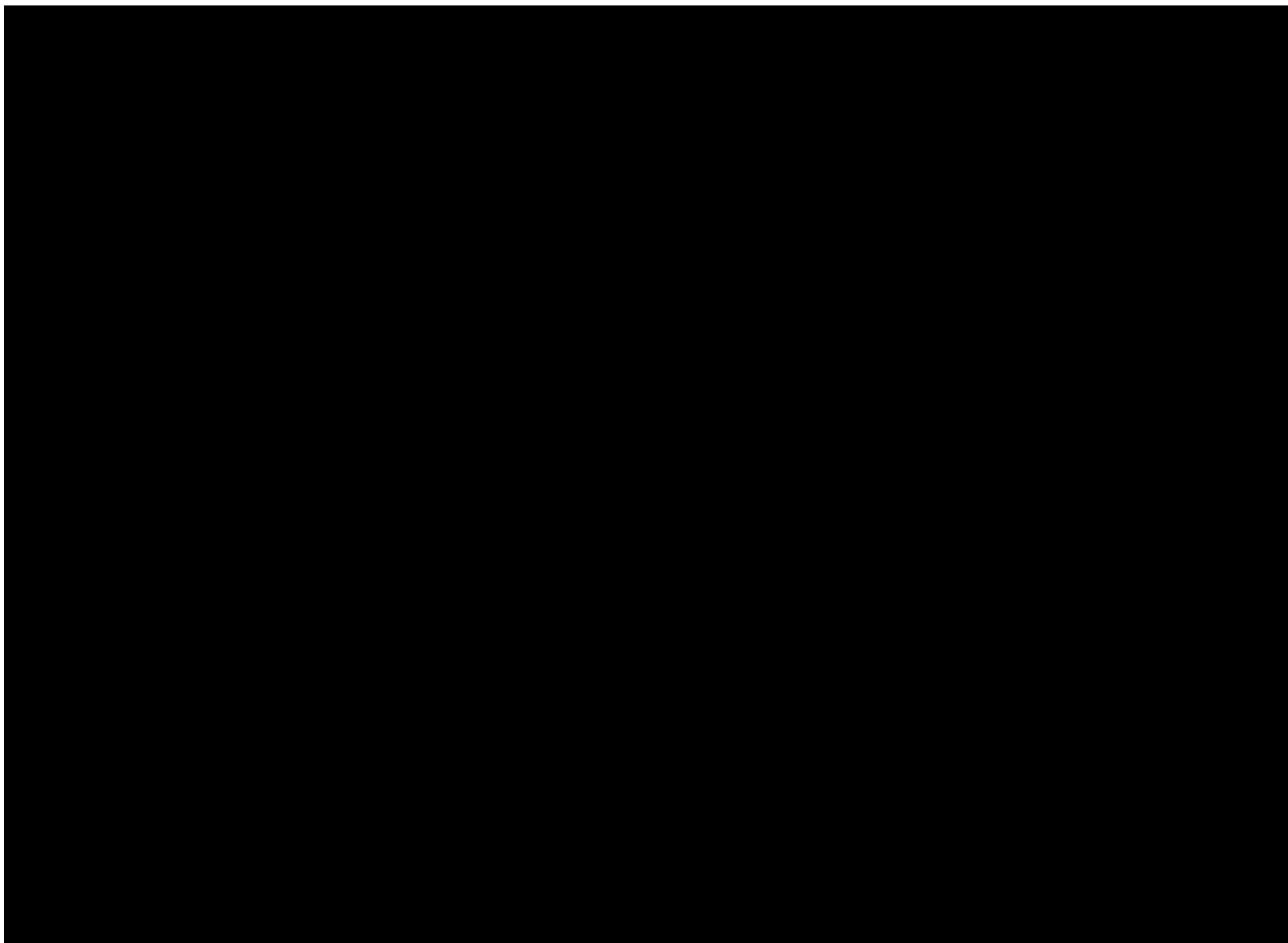
## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---



## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---



## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

---

### 11. 訓練観察体制

他電力による評価及び視察を受け入れる予定  
評価実施時は評価シートを用いた評価を行う

### 12. 訓練観察時資料

#### a. 訓練計画書 [発電所固有資料]

✓ 訓練体制, 訓練目標等の観察に必要な基本情報の確認

#### b. 要素訓練観察チェックシート [発電所固有資料]

#### c. 手順書 [発電所固有資料]

✓ 公開可の内容について事前に送付

✓ 訓練設定上の模擬範囲を明確化

## 福島第二 2022年度緊急時演習評価指標 7（実動訓練）概要

### 1.3. 要素訓練評価項目及び評価方法

#### (1) 評価項目

- ✓要素訓練全体(緊急時対策所及び現場実動)での共通的な評価項目
- ✓要素訓練テーマ( )ごとの共通的な評価項目
- ✓前年度課題の改善状況に関する評価項目
- ✓発電所特有の手順に関する評価項目

※全評価項目の観察, 評価を必須とするものではなく, 観察できた項目の評価を行うものとして整理

#### (2) 観察記録: 評価の理由となる事実 (Fact)

#### (3) 気付き事項, 良好事例, 改善事項

- ✓気付き事項: 良否の判定に関係しない, 何らかの気付いた事項
- ✓良好事例: 特に優れている項目。評価者が自社の改善につながる項目。
- ✓改善事例: 改善の必要性 (Factに基づく理由) 及び改善方法の提案 (少なくとも方向性)

#### (4) 評価結果等の反映

- ✓評価結果, 良好事例, 気付き事項及び改善事項については, 自社の改善計画のプロセスに取り込み, 反映する。
- ✓必要に応じて改善事項を要素訓練観察チェックシートの評価項目に追加する。

#### (5) 今年度の訓練以降, 評価項目の追加・削除及びその結果の総合的な評価の方法のほか, 要素訓練実施方法についても検討していく。